

第 10 回鋼構造セミナー 「上下階でコラム柱のサイズを変更する仕口部の設計と製作」

主催：日本建築学会中国支部,日本建築構造技術者協会中国支部,協同組合広島県鉄構工業会

会場：広島工業大学広島校舎（広島市中区中島町 5-7）

内容：上下階でコラム柱のサイズを変更する仕口部について,設計と製作の両面から比較検討し,その結果について説明する

講師：近松英樹（日本建築構造技術者協会中国支部 技術委員長）

望月久智（センクシア株式会社 デバイス本部 主任技師）

岩土英爾 船山聖喜（協同組合広島県鉄構工業会）

日時：9月24日（土）14:00~16:30 定員：80名

参加費：主催団体会員 1000円, 会員外 2000円, 学生 無料

対象：主催団体会員,建築技術者,大学院生,大学生

問合せ：広島工業大学 建築工学科 清水齊 h.shimizu.tn@it-hiroshima.ac.jp

内容：

コラム柱を用いる鉄骨造の設計において,上下階で柱のサイズを変更する場合,その仕口部の製作方法には,テーパ鋼管を用いる方法.あるいは,ビルトボックスでテーパ形状のパネル部を製作する方法(在来工法).または,特殊なダイアフラムを用いてパネル部には汎用的なストレート鋼管を用いる方法等が挙げられる.ここでは,特殊なダイアフラムを用いる場合の留意事項の説明を行う.そして,設計例を用いて,柱のサイズを変更する場合の仕口パネル部の製作方法を在来工法とした場合と,その他の工法とした場合について,設計と製作の両面から比較検討し,その結果について説明を行う.

本セミナーは,より合理的な鋼構造設計や鋼構造建築物の施工に繋げるために企画されたものである.是非とも,構造設計者,鉄骨製作技術者,および大学生・院生の積極的な参加を期待する.